

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	吉井章人	学校名	香川県高松市立中央小学校
実施学年	6年	教科	社会科
単元名	「明治の国づくりを進めた人々」		

《学びを深めたいポイント》

教科書の資料について、家庭学習での発表ノートを用いた「予想をする」活動を通して、児童の追究意欲を高め、「〇〇な国づくり」について説得力のある理由付けができるようにした。また、「なぜ歴史を学ぶのだろうか」という問いから、歴史レビュー（振り返り）を4つの視点で比較・関連付けながら蓄積し、仲間と意見交換したり、表現したりできるようにした。

本単元では、授業の導入で取り扱う内容を事前に課題として発表ノートに表現させておくことによって、授業中、話し合う時間を十分に確保することができると考えた。発表ノートには、問いと教科書の資料を添付して作成した。「予想をする」活動によって、児童に歴史的事象に興味・関心をもたせ、歴史的事象の特徴をとらえさせたり、児童の追究意欲を高めたりすることができると考えた。

つまり、資料を通して、児童は歴史的事象と出会い、「おかしいな、どうしてだろう」という疑問や「もっと詳しく調べてみたい」という追究意欲をもちながら、歴史的事象の事実をつかむことができる。このように、歴史的事象に対して、問題を見出し、追究意欲を高めながら自分なりの考え（予想）をもつ場を家庭学習に置き、学習問題の解決を図った。自分の予想をもとにした、資料の読み取りや仲間との話し合いを通して、時代の変化に気づき、「〇〇な国づくり」について説得力のある理由付けができると考えた。また、単元毎の振り返りを発表ノートに記述・蓄積していき、歴史学習全体を通して見方・考え方を働かせ、自分が歴史学習を通して何を学んだか振り返ることで、自分の生き方やこれからの日本社会のよりよい発展について考えることができると考えた。

《SKYMENU 活用のポイント》

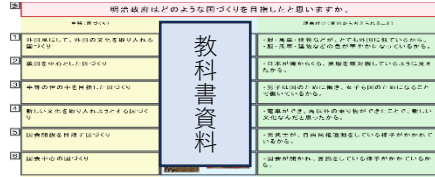
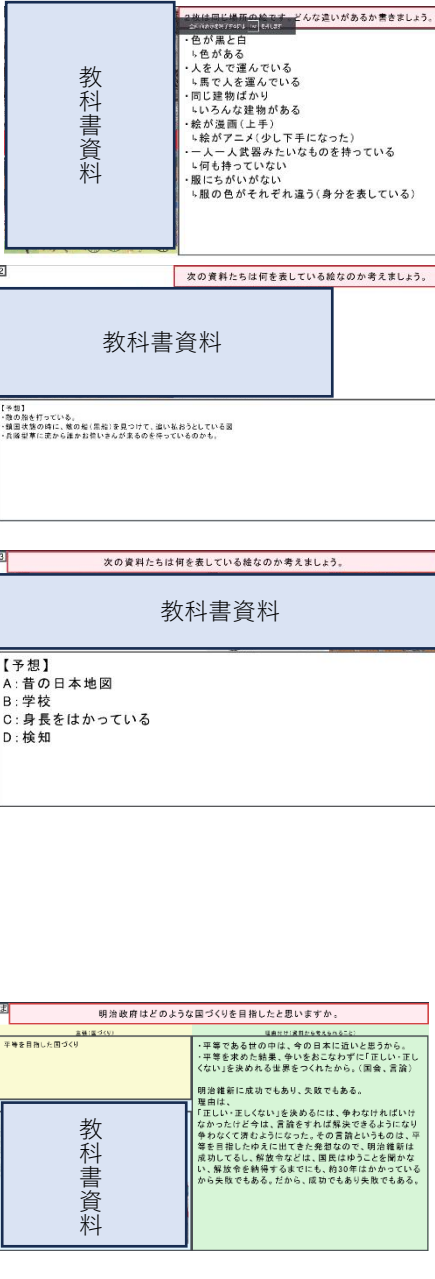
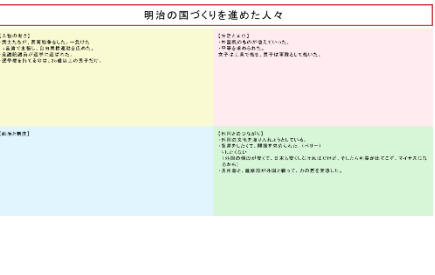
○本時の学習に至るまでの発表ノートによる予習

1つの発表ノートに、単元全てのノートを作成し、毎時間の授業前日の課題とした。子どもたちは、教科書の写真から素朴な疑問を書き込み、問いを見出していた。「まとめる」段階では、明治政府の諸改革について、改革の目的やそれぞれの改革の関係性についてまとめた。それまでの学習でまとめてきた発表ノートをもとに、明治政府が目指した国づくりを「〇〇な国づくり」とキャッチコピーをつくった。

○歴史学習を通した、振り返りシート

歴史学習のスタートから、「なぜ、歴史を学ぶのか」という問いを見出した。振り返りを通して、自分たちの生活は、長い間の我が国の歴史や先人たちの働きの上に成り立っていることや、遠い祖先の生活が自分たちの生活と深く関わっていることなどを理解できると考えた。また、自分たちもこれからの歴史の担い手となることや、平和で民主的な国家及び社会を築き上げることの重要性について、考えを深めることにつながると考えた。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	<p>1. めあてを確認する。</p> <p>2. これまでの学習を確認する。</p>		<p>・各時間で発表ノートにまとめてきた「〇〇な国づくり」を振り返り、本時の見通しをもたせた。</p>
展開	<p>3. 明治政府が目指した国づくりについて、成功か失敗かで考える。</p> <p>・グループで</p> <p>・全体で</p> <p>4. これまでの話し合いをもとに、自分のキャッチコピーを再構成する。</p>		<p>・明治維新の改革が日本にもたらした影響を整理した発表ノートを見返し、「政府」と「国民」の立場で分けて、明治維新の改革について成功か失敗かを話し合わせた。</p> <p>・これまでの既習事項を振り返らせることで、改革を推し進めた人物の願いや思いと諸改革を関連付けさせた。</p> <p>我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解しているかを評価した。(発表ノート)</p> <p>A: 仲間との話し合いから明治維新を多面的・多角的に捉え、自分のまとめに生かすことができている。</p> <p>B: 中間の意見を取り入れて、自分のまとめに生かすことができている。</p>
まとめ	<p>5. 本単元の振り返りを行う。</p>		<p>「人物の働き」「生活と文化」「政治と制度」「外国とのつながり」という4つの視点で、自己の生活とつなげて振り返らせた。</p>

《実践を振り返って》

歴史は苦手な児童が多くなる傾向がある。そこで、「予想してみると」「今の生活と比べると」と考えると、歴史が楽しくなるよと語り続けてきた。これらの工夫によって、発表ノートを活用した歴史学習や歴史レビュー（振り返り）に意欲的に取り組むことができた。いつでも開ける状態の発表ノートは子どもたちが主体的に取り組むために必要不可欠であると感じた。

今後も歴史レビューを蓄積することで、「なぜ、歴史を学ぶのか」という問いを考える材料にしたいと思う。これは、ポートフォリオとしての価値もあると考えます。